

工業英検 10 年報告（平成 6 年秋季～平成 16 年春季）

大西 孝臣*・松尾 征夫**

A Decadal Report of The English Technical Writing Test Held at Tomakomai-NCT (1994's Autumn - 2004's Spring)

Takaomi OHNISHI and Yukio MATSUO

Abstract

This report shows the decadal stats (1994's autumn thru 2004's spring) about the results of the English Technical Writing Test, which is provided by Japan Society for Technical Communication (JSTC). We, the members of the volunteers' group for holding the English Technical Writing Test at Tomakomai-NCT, propose to show the stats from a couple of aspects of the results of the tests that we have been holding twice a year.

1. はじめに

本校では、平成 6 年秋季よりこれまでの 10 年間、準会場（本校学生のみを受験生とし本校施設を会場とする方式）として、春季（5 月実施）・秋季（11 月実施）の年 2 回ずつ、平成 16 年度春季までに計 20 回、(社) 日本工業英語協会による工業英語能力検定試験（工業英検）を実施してきた。

我々が“工業英検実施ボランティアグループ”として会場運営を行う事となる契機としては、本校の同好会である英語研究会（当時）の会員学生他の有志から、本校を会場として工業英検を実施して欲しいとの要望を受けた事に始まる。その後しばらくの間、技術職における技術英語の習得の必要性、就職活動における資格取得の重要性を学生に説きながら試験会場運営を行ってきたが、既に当時には、資格試験他の外部機関による学力評価を重要視するという時勢が大きなものとなっており、本校においても平成 9 年 4 月、『苫小牧工業高等専門学校における文部大臣認定技能審査の合格に基づく単位認定に関する内規』（のちに“文部大臣認定”から“文部科学大臣認定”に移行）が発効するのに伴い、本検定試験の級認定による本校本科生の専門教科の単位（工業英語、及び工業英語能力）への認定制度が認められる運びとなり、今日に到っている。

本稿では、本校において実施してきた、前述の期間における計 20 回分の試験の実施結果についての

集計結果を報告する。

2. 実施結果報告

2.1 実施回別受験者数受験者数合格者数一覧

平成 6 年秋季から平成 16 年度春季までの計 20 回のそれぞれの実施における各級の受験者数、合格者数及び合格率について、次ページの表 1 に示す。

受験者数については欠席者を初めから外して延べ数で示し、合格者数については全体数と内数での 2 度目、3 度目の挑戦による合格者数を示した。例えば、同一の学生が 1 度目の受験申し込みでは受験の結果不合格、2 度目の申し込みでは欠席、3 度目の申し込みでは受験の結果合格というような場合には、1 度目と 3 度目のそれぞれの申し込みの実施回の行項目における「受験者延数」の列項目にカウントされ、更に 3 度目の申し込みの実施回の行項目における「合格者」の「全体数」と「2 度挑戦」の列項目にそれぞれカウントされる。

2.2 クラス別受験者数合格者数一覧

クラス別の各級の受験者数、合格者数及び合格率について、各学科別の総計を次ページの表 2 に、各クラス別について、各学科において区分けしてまとめたものを表 3-1 から表 3-5 に示す。

受験者数については欠席者を初めから外して各学科や各クラスの実数で示した。従って、欠席せずに 1 度でも受験をした学生は所属するクラスの行項目における受験した級の「受験者実数」の列項目に 1 度だけカウントされる。

* 助教授 情報工学科

** 教授 機械工学科

表 1 実施回別受験者数受験者数合格者数

実施時期	2 級			3 級					4 級			
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者			合格率	受験者数	合格者		合格率
					全体数	2度挑戦	3度挑戦			全体数	2度挑戦	
平06秋	1	1	100.0%	7	6	0	0	85.7%	30	28	0	93.3%
平07春	0	0	-	7	1	0	0	14.3%	30	27	1	90.0%
平07秋	0	0	-	16	6	2	0	37.5%	26	25	0	96.2%
平08春	0	0	-	18	5	1	0	27.8%	22	19	0	86.4%
平08秋	1	0	0.0%	9	3	1	0	33.3%	17	15	1	88.2%
平09春	0	0	-	43	12	1	0	27.9%	37	29	0	78.4%
平09秋	2	0	0.0%	23	8	2	0	34.8%	5	5	0	100.0%
平10春	0	0	-	45	6	0	0	13.3%	14	10	0	71.4%
平10秋	1	0	0.0%	24	5	3	0	20.8%	7	4	1	57.1%
平11春	0	0	-	23	7	4	1	30.4%	8	6	0	75.0%
平11秋	0	0	-	32	7	3	0	21.9%	5	5	0	100.0%
平12春	1	0	0.0%	19	3	0	0	15.8%	3	3	0	100.0%
平12秋	0	0	-	15	4	0	0	26.7%	10	10	0	100.0%
平13春	0	0	-	32	13	2	0	40.6%	9	8	0	88.9%
平13秋	1	1	100.0%	26	18	3	0	69.2%	2	2	0	100.0%
平14春	0	0	-	26	14	1	1	53.8%	6	5	0	83.3%
平14秋	2	1	50.0%	32	11	1	1	34.4%	4	3	0	75.0%
平15春	0	0	-	19	3	0	0	15.8%	8	8	0	100.0%
平15秋	1	0	0.0%	11	0	0	0	0.0%	4	3	0	75.0%
平16春	1	0	0.0%	8	6	3	0	75.0%	3	2	0	66.7%
合計	11	3	27.3%	435	138	27	3	31.7%	250	217	3	86.8%

表 2 クラス別受験者数合格者数（各学科・全校における総計）

学 科 名	2 級			3 級			4 級		
	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率
機械工学科	2	1	50.0%	102	35	34.3%	33	31	93.9%
電気工学科・ 電気電子工学科	2	0	0.0%	76	23	30.3%	78	68	87.2%
情報工学科	2	2	100.0%	145	65	44.8%	93	86	92.5%
工業化学科・ 物質工学科	3	0	0.0%	23	15	65.2%	30	24	80.0%
土木工学科・ 環境都市工学科	0	0	-	4	0	0.0%	12	8	66.7%
合 計	9	3	33.3%	350	138	39.4%	246	217	88.2%

クラスの表現については在校生も含め、卒業年あるいは卒業予定の年度として示した。従って、平成 16 年度における 5 年生（平成 17 年 3 月に卒業を見込まれる 5 年生）は「平 1 6」の行項目に属する。2 級、3 級、4 級の全ての級に渡って 1 名も受験者を出さなかったクラスについては、表の行項目から削除した。過年度の学生については、受験した時期において所属しているクラスとは関係なく、最後に在籍したクラス（平成 16 年度現在の在校生については現在所属しているクラス）に含める事とした。

表 3－1 クラス別受験者数合格者数（機械工学科）

卒業 卒業 予定年度	2 級		3 級			4 級		
	受験者実数	合格者数	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率
平06	1	1	2	2	100.0%	1	1	100.0%
平07	0	0	8	3	37.5%	7	7	100.0%
平08	0	0	7	3	42.9%	3	3	100.0%
平09	0	0	0	0	－	5	5	100.0%
平10	0	0	10	4	40.0%	2	2	100.0%
平11	0	0	10	3	30.0%	5	4	80.0%
平12	0	0	11	1	9.1%	5	4	80.0%
平13	0	0	5	1	20.0%	2	2	100.0%
平14	0	0	9	5	55.6%	0	0	－
平15	0	0	13	10	76.9%	1	1	100.0%
平16	1	0	25	3	12.0%	1	1	100.0%
平17	0	0	2	0	0.0%	1	1	100.0%
合計	2	1	102	35	34.3%	33	31	93.9%

表 3－2 クラス別受験者数合格者数
（電気工学科・電気電子工学科）

卒業 卒業 予定年度	2 級		3 級			4 級		
	受験者実数	合格者数	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率
平06	0	0	1	1	100.0%	0	0	－
平07	0	0	2	2	100.0%	14	13	92.9%
平08	0	0	1	0	0.0%	4	4	100.0%
平09	1	0	5	1	20.0%	19	16	84.2%
平10	0	0	13	4	30.8%	11	9	81.8%
平11	0	0	8	0	0.0%	5	5	100.0%
平12	0	0	16	7	43.8%	4	4	100.0%
平13	0	0	15	3	20.0%	10	7	70.0%
平14	0	0	6	1	16.7%	6	6	100.0%
平15	0	0	4	2	50.0%	1	1	100.0%
平17	1	0	5	2	40.0%	3	2	66.7%
平18	0	0	0	0	－	1	1	100.0%
合計	2	0	76	23	30.3%	78	68	87.2%

表 3－3 クラス別受験者数合格者数（情報工学科）

卒業 卒業 予定年度	2 級		3 級			4 級		
	受験者実数	合格者数	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率
平06	0	0	1	1	100.0%	2	2	100.0%
平07	0	0	0	0	－	1	1	100.0%
平08	0	0	0	0	－	3	3	100.0%
平09	0	0	4	2	50.0%	5	5	100.0%
平10	0	0	20	5	25.0%	13	11	84.6%
平11	0	0	22	5	22.7%	20	18	90.0%
平12	0	0	8	3	37.5%	4	4	100.0%
平13	0	0	18	9	50.0%	10	9	90.0%
平14	1	1	17	8	47.1%	5	5	100.0%
平15	1	1	27	16	59.3%	12	12	100.0%
平16	0	0	19	9	47.4%	8	7	87.5%
平17	0	0	5	3	60.0%	2	2	100.0%
平18	0	0	4	4	100.0%	7	6	85.7%
平20	0	0	0	0	－	1	1	100.0%
合計	2	2	145	65	44.8%	93	86	92.5%

表3-4 クラス別受験者数合格者数
(工業化学科・物質工学科)

卒業/卒業 予定年度	2級		3級			4級		
	受験者実数	合格者数	受験者実数	合格者数	合格率	受験者実数	合格者数	合格率
平06	0	0	0	0	-	1	1	100.0%
平07	0	0	4	2	50.0%	0	0	-
平09	2	0	4	4	100.0%	9	7	77.8%
平10	0	0	3	2	66.7%	4	4	100.0%
平11	0	0	5	2	40.0%	3	3	100.0%
平12	1	0	4	3	75.0%	7	6	85.7%
平13	0	0	0	0	-	4	1	25.0%
平16	0	0	3	2	66.7%	0	0	-
平18	0	0	0	0	-	2	2	100.0%
合計	3	0	23	15	65.2%	30	24	80.0%

本工業英語協会 様、日頃、工業英検実施ボランティアグループの活動と試験会場の運営にご理解を下さいます伊藤 精彦 校長、これまで本校における工業英検の会場運営にご理解、ご協力を頂きました佐久間 哲郎 前校長・名誉教授、電気電子工学科 藤島 豊 元助教授、青柳 稔 元助教授、物質工学科 藤井 清志 教授、佐藤 森 助教授、旧一般教科 マーク ウィリアム マキャン 元外国人教師、ブライアン マーク ニールセン 元外国人教師、現在、工業英検実施ボランティアグループに加わって頂き、試験会場の運営にご協力頂いております電気電子工学科 佐々木 幸司 助教授、物質工学科 宇津野 国治 助教授、並びに、受験生の募集活動にご協力くださいます各年度のクラス担任、専攻主任の諸先生方に深謝申し上げます。

(平成16年12月20日受理)

表3-5 クラス別受験者数合格者数
(土木工学科・環境都市工学科)

卒業/卒業 予定年度	3級		4級		
	受験者実数	合格者数	受験者実数	合格者数	合格率
平09	3	0	2	2	100.0%
平10	1	0	2	2	100.0%
平12	0	0	2	1	50.0%
平14	0	0	2	1	50.0%
平15	0	0	1	0	0.0%
平18	0	0	3	2	66.7%
合計	4	0	12	8	66.7%

3. おわりに

本稿では、工業英検の会場運営の10年期報告として、実施回別及びクラス別の見方からの実施結果報告を行った。

謝 辞

本稿の執筆にあたり、本校学生に技術英語の習得と資格取得の機会を与えて下さいます(社)日